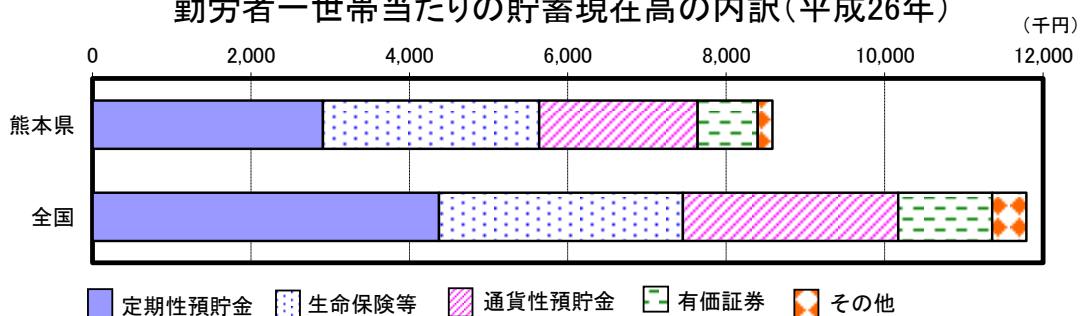
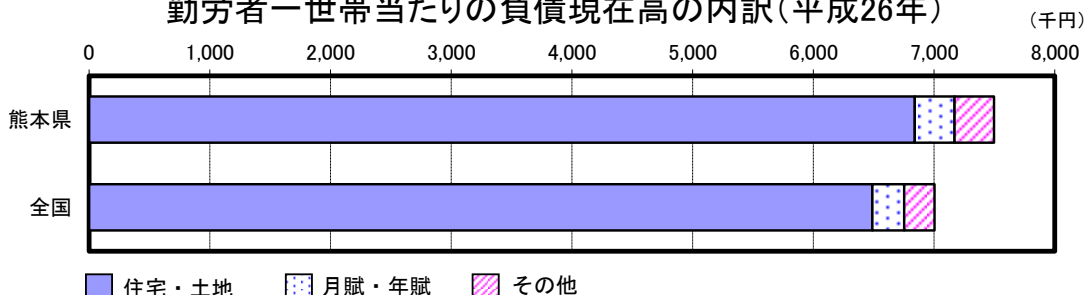


勤労者一世帯当たりの貯蓄現在高の内訳(平成26年)



勤労者一世帯当たりの負債現在高の内訳(平成26年)



解 説

【概要】

平成26年の全国における勤労者一世帯当たりの貯蓄現在高は11,790千円で、年間収入に対する割合(貯蓄年収比)は166.9%と、年間収入を大きく上回る貯蓄を保有している。本県の状況は、貯蓄現在高が8,583千円、貯蓄年収比も133.5%と全国平均を下回っている。

一方、負債現在高では、全国の7,003千円、負債年収比99.2%に対し、本県は7,495千円、116.6%と高くなっている。

また、平成30年3月末の一人当たり個人預金残高は2,588千円で前年同時期から47千円増加したが、全国平均に対し71.4%と低い水準にある。

○貯蓄現在高

ゆうちょ銀行、郵便貯金・簡易生命保険管理機構(旧日本郵政公社)、銀行、その他の金融機関への預貯金、生命保険・積立型損害保険の掛金、株式・債権・投資信託・金銭信託等の有価証券と社内預金等のその他の貯蓄の合計をいう。

○平均貯蓄率

貯蓄純増÷可処分所得×100

○貯蓄純増

「預貯金」と「保険料」の合計から「預貯金引出」と「保険金」の合計を差し引いたもの

○負債現在高

ゆうちょ銀行、郵便貯金・簡易生命保険管理機構、銀行、生命保険会社、住宅金融支援機構などの金融機関からの借入金のほか、勤め先の会社・共済組合、親戚・知人からの借入金及び月賦・年賦の残高など金融機関外からの借入金の合計をいう。

○個人預金残高

国内銀行における各年3月末現在の個人名義の預金残高をいう。

資料出所	調査期日	調査周期
*1、*3「全国消費実態調査」 総務省統計局	平成26年11月末日	5年
*2「家計調査」 総務省統計局	平成30年	毎年
*4「都道府県別預金・現金・貸出金」 日本銀行	平成30年3月末	毎月